

【授業目的】本科目は、土木・建設工学における計画分野の基礎科目である。社会基盤施設の定義と特徴、計画の策定過程、計画の目的と目標、計画における予測と評価の考え方や手法を理解し、社会資本施設整備計画の立案に必要な基礎知識を身につけることを目的とする。

【授業概要】教科書に加え、関連資料や現実の社会基盤施設整備計画の事例を用い、講義形式でわかりやすく講述する。また、理解度を高めるために、各講義の最後には、おさらいのプリントを課す。

【キーワード】社会基盤施設、計画における予測、計画における評価

【先行科目】[先行科目]

【関連科目】『計画の数理』(0.5)

【履修要件】特になし

【履修上の注意】授業を受ける際には、2時間の授業時間毎に2時間の予習と2時間の復習をしたうえで授業を受けることが、授業の理解と単位取得のために必要である。

【到達目標】社会基盤施設の定義と特徴、社会基盤整備計画の枠組みや策定過程が示せ、計画に必要な予測手法や評価手法について説明することができる。各回の授業内容は計画に記載のとおりである。授業を受講し、おさらいプリントをすべて提出した上で、その内容を復習することによって目標を達成させる(授業計画1~16)。

【授業計画】

1. ガイダンス:計画の論理を学ぶ理由
2. 社会基盤施設とその特徴(おさらいプリント1) 講義内容の予習・復習
3. 社会基盤施設整備の変遷(おさらいプリント2) 講義内容の予習・復習
4. 計画の策定過程(おさらいプリント3) 講義内容の予習・復習
5. 計画の目的と目標(おさらいプリント4) 講義内容の予習・復習
6. 計画における予測(おさらいプリント5) 講義内容の予習・復習
7. 需要予測手法(おさらいプリント6) 講義内容の予習・復習
8. 社会基盤整備の効果(おさらいプリント7) 講義内容の予習・復習
9. 計画の評価(おさらいプリント8) 講義内容の予習・復習
10. 評価手法(おさらいプリント9) 講義内容の予習・復習
11. 産業連関分析(おさらいプリント10) 講義内容の予習・復習
12. 費用便益分析(おさらいプリント11) 講義内容の予習・復習
13. 便益の計測手法(おさらいプリント12) 講義内容の予習・復習

14. 社会基盤整備の今後の課題

15. 期末試験

16. 試験の返却と解説

【成績評価基準】到達目標が達成されているかどうかを定期試験の評価点(100%)によって行う。評価点が60%以上を到達目標クリアの条件とする。ただし、おさらいプリントはすべて提出されていること。また、出席率が3分の2以上あること。

【JABEE合格】「成績評価」と同一である。

【学習教育目標との関連】本科目は、本学科の教育目標の3(2)に、100%に対応する。

【教科書】河上省吾:土木計画学、鹿島出版会

【参考書】

- ◇土木学会:土木工学ハンドブック、技報堂
- ◇青山吉隆:図説都市地域計画、丸善

【WEB 頁】<http://www.ce.tokushima-u.ac.jp/lectures/D0013>

【授業コンテンツ】<http://cms.db.tokushima-u.ac.jp/cgi-bin/toURL?EID=215812>

【対象学生】他学科、他学部学生も履修可能

【連絡先】

⇒ 近藤光男, エコ602, 088-656-7339, [kondo@eco.tokushima-u.ac.jp](mailto:kondo@eco.tokushima-u.ac.jp) (オフィスアワー: 月曜日9-10校時)

【備考】.特になし

**Target)** 本科目は、土木・建設工学における計画分野の基礎科目である。社会基盤施設の定義と特徴、計画の策定過程、計画の目的と目標、計画における予測と評価の考え方や手法を理解し、社会資本施設整備計画の立案に必要な基礎知識を身につけることを目的とする。

**Outline)** 教科書に加え、関連資料や現実の社会基盤施設整備計画の事例を用い、講義形式でわかりやすく講述する。また、理解度を高めるために、各講義の最後には、おさらいのプリントを課す。

**Keyword)** 社会基盤施設、計画における予測、計画における評価

**Fundamental Lecture)** [先行科目]

**Relational Lecture)** “Planning and Mathematical Principle”(0.5)

**Requirement)** 特になし

**Notice)** 授業を受ける際には、2時間の授業時間毎に2時間の予習と2時間の復習をしたうえで授業を受けることが、授業の理解と単位取得のために必要である。

**Goal)** 社会基盤施設の定義と特徴、社会基盤整備計画の枠組みや策定過程が示せ、計画に必要な予測手法や評価手法について説明することができる。各回の授業内容は計画に記載のとおりである。授業を受講し、おさらいプリントをすべて提出した上で、その内容を復習することによって目標を達成させる(授業計画1~16)。

**Schedule)**

1. ガイダンス:計画の論理を学ぶ理由
2. 社会基盤施設とその特徴(おさらいプリント1) 講義内容の予習・復習
3. 社会基盤施設整備の変遷(おさらいプリント2) 講義内容の予習・復習
4. 計画の策定過程(おさらいプリント3) 講義内容の予習・復習
5. 計画の目的と目標(おさらいプリント4) 講義内容の予習・復習
6. 計画における予測(おさらいプリント5) 講義内容の予習・復習
7. 需要予測手法(おさらいプリント6) 講義内容の予習・復習
8. 社会基盤整備の効果(おさらいプリント7) 講義内容の予習・復習
9. 計画の評価(おさらいプリント8) 講義内容の予習・復習
10. 評価手法(おさらいプリント9) 講義内容の予習・復習
11. 産業連関分析(おさらいプリント10) 講義内容の予習・復習
12. 費用便益分析(おさらいプリント11) 講義内容の予習・復習
13. 便益の計測手法(おさらいプリント12) 講義内容の予習・復習

14. 社会基盤整備の今後の課題

15. 期末試験

16. 試験の返却と解説

**Evaluation Criteria)** 到達目標が達成されているかどうかを定期試験の評価点(100%)によって行う。評価点が60%以上を到達目標クリアの条件とする。ただし、おさらいプリントはすべて提出されていること。また、出席率が3分の2以上あること。

**Jabee Criteria)** 「成績評価」と同一である。

**Relation to Goal)** 本科目は、本学科の教育目標の3(2)に、100%に対応する。

**Textbook)** 河上省吾:土木計画学、鹿島出版会

**Reference)**

- ◇ 土木学会:土木工学ハンドブック、技報堂
- ◇ 青山吉隆:図説都市地域計画、丸善

**Webpage)** <http://www.ce.tokushima-u.ac.jp/lectures/D0013>

**Contents)** <http://cms.db.tokushima-u.ac.jp/cgi-bin/toURL?EID=215812>

**Student)** Able to be taken by student of other department and faculty

**Contact)**

⇒ 近藤光男, エコ602, 088-656-7339, kondo@eco.tokushima-u.ac.jp (Office Hour: 月曜日9-10校時)

**Note)** .特になし